

方だけで教えているようなやり方を、方々で見ました。今植田さんがおっしゃったような行き方も1つだと思いますし、人間中心の看護をもっと個々の中心にしなければということ、10年くらい前から言われてきているんですが、教育の場でどういうふうに教えていくかという1つの行き方で、そういうやり方がなされているんじゃないかと思うんです、それは大へん興味深いやり方だと思います。ただそれを実習の場でいかにダイナミックにグロス・アンド・ディプロブメントというのを理解させるかということが非常にむずかしいし、教える人たちが相当の広い知識を持っていなければ、教えられるんじゃないかと思うんです、しかし能力というものが相当要求されるコースじゃないかと思うんです。あるところでは心理学の方が教えているところもありましたし、精神衛生ですか、そういう面を専

攻なすった方が教えているところもありましたし、あるところでは小児看護を教えている人が一部もって、それから心理の人と一緒に教えているということもありました、そのコースなんかは人間を中心ということ、それにもっと看護が広がっていく方向といいますが、そういうものを学生に理解させるために設定されているコースだと思うんです。

本誌 将来としてはやはりそういうところに持ち込んでいく方向なんでしょうね。第一歩としては植田さんのおっしゃったようなところからでも、そういう近づき方をして。

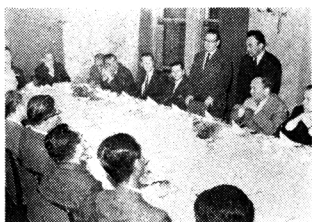
〈今後の看護教育に とり入れたいもの〉

植田 たしかに、そうしたやり方はいいいですね。心理学なんかの面をもっともっと広く取り上げなきゃならないでしょうし、精神衛生の問題ももっと広く取り上げていかなっ

たら、結局病気を持った一個の人間への理解ということがお題目になってしまいますね。そういう点で一般心理学が何時間とかこれだけで十分だということはいえないにしても、今みたいな形じゃとても少なすぎるし申しわけに出ているような気がしました。で、心理学も1年生のときだけならうんじゃなくて、やっぱり臨床に入って何年か経験をしながら、臨床心理学をもう一度戻って講義を何うだけじゃなくて、学生たち自身問題提起してその中から臨床心理学なんか専攻していってやる方に出ていただいて、ディスカッションなり何なりの形で発展の仕方、分析の仕方、勉強の仕方ということをその場で提起していただくということも、一つのあり方じゃないかと思えますけれども。

仲田 だから私も今思っているんですけども、現在としては心理学をならい、精神衛生をならうことに

編集デスク <23>



ソ連からジャーナリスト代表団一行7名が来日した。団長はタス通信の社長ゴリュノフ氏である。忙しい日程のなかで出版関係者との懇談会があって私も出席する機会を得たが、ゴリュノフ団長が開口一番テレビの普及と出版との関係について関心を寄せていたのは興味を引いた。

ソ連におけるテレビの普及はめざましいものがあるが、その点は日本と同様で、テレビに食われて人間が本を読まなくなる傾向を憂えていたのである。だから、ゴリュノフ団長が、日本で画面にふたのできるテレ

ビに関心を持ったり、また自分の子供にはテレビを見せないようにしていると語ったのは、いかにもテレビの被害を大きく考えているようでむしろユーモラスでさえあった。

一般的に言って、テレビの普及は自然科学の進歩の土台に乗ったものである。自然科学の進歩は、今後さらに早いテンポでテレビ技術を改善し、その普及度を増してゆくことで

（ソ連でもテレビの進出）

——長谷川 泉——

あろう。だから、テレビの画面にふたをするよりは、むしろすなおに進歩する自然科学の上に乗った方策を考える方が本筋であろう。水の流れをせきとめることはなかなかむづかしいことである。今日の視聴覚教育はラジオやテレビの普及と密接に結びついているのであって、その傾向を逆転させたりチェックしたりすることは不可能であろう。

出版物には出版物の使命とメカニズムがあり、テレビにはテレビの使命とメカニズムがある。それはたしかに、一部共食いになる部分もあるにはあるが、本質的には違うものがある。その本質的なものは、いくらテレビが普及しても、テレビによってとってかわられるものではない。出版物は出版物として生き残ることができるものである。私は、そのことを力説したら、ゴリュノフ団長も最後に「私もそう思う」と同意を示していた。

このことは、出版物があぐらをかいていてよいということではない。出版技術の改善も進められなければならないだろう。自然科学の進歩は、この面でも働いてくれないならならぬ。そして、私たち出版にたずさわる者は、よいテレビに食われないようなよい出版物を、それなりのメカニズムにおいて多く産み出してゆかなければならないという命題につながってくるのである。

(写真 当日の懇談会風景)